

人を治むるは、よろしく寛なるべし、己を治むるに至っては、厳なるを貴ぶ

「人を治むるは、よろしく寛なるべし、
己を治むるに至っては、厳なるを貴ぶ」

室鳩巢

——人には優しく、自分には厳しく——
春風を以って人に接し、秋霜自肅

人は、寛大な心をもって治めるべきである。

室鳩巢は、江戸時代の儒学者で、徳川吉宗に講義をしたこともあると言われている。

人に対しては、優しくすることは勿論、なによりも自分に対しては厳しくしなければならない。

そうした気持ちがなければ、すぐに怠けてしまい、自分の目標を達成することはおぼつかない。